

# ふるさと発見 ちがさき 丸ごと 博物館

( 愛称は「ちがさき丸ごと博物館」 )



(シンボルマーク)

## 秋まっさかりの芹沢を歩いてみました

秋晴れの日、思い立って芹沢にハイキングに行ってきました。若者達に混じって文教大学でバスを降り出発です。レンガ色のキャンパスを右手にみながら、里山公園方面に向かいます。大学脇の道路を上りきると行谷から芹沢に入ります。整備された道路を右手に進んでいくと里山公園の西駐車場、このあたりは大久保で縄文時代のムラや横穴の古墳が発見された事などが説明されています。木々も秋の色づきを見せ始めている里山公園のパークセンターに寄って展示などを見学した後、丘の村や子供の村や谷の村などに整備された公園内をのんびり散策して



柳谷 (やなぎやと) へ向かって降りていくと、休憩所となっている古民家の復原施設があったので見学。なつかしい昔ながらの雰囲気にとっても和やかな気持ちになります。土日にはいろいろなイベントが行われることもあるそうです。柳谷の源泉である池や古い地層をみてちょっと勉強。さらに進むと田んぼがあり、この谷の原風景が地域やボランティアの方々の手で護られています。谷はだんだん開けて明るくなるあたりで通称「きつね坂」にぶつかります。右手 (東) に上ると芹沢の鎮守様である腰掛 (こしかけ) 神社がありますが、今回は左手を上り久保山地区へ入り北の小出川方面に進むと箱庭のような静かな美しい景観が一望できます。「久保山貝塚」の説明板があり、多量の縄文土器が見つかったそうで、このあたりも縄文時代から選ばれた土地であったことを知り、とても納得しました。小出七福神の弁財天を祭る日蓮宗の蓮妙<sup>れんみょうじ</sup>寺、恵比寿神を祭る浄土宗の来迎寺<sup>らいこうじ</sup>は、それぞれの景色に解け合っておごそかにたたずみ、古来地域の人々の心の支えとなってきました。本当に静かな時間と空間の中で、心から手を合わせたくなる雰囲気が漂います。小出川の谷筋の水田地帯は稲刈りもほぼ終わり、すっかり秋らしくなっています。30段のゆったりとした石段がとても落ち着く来迎寺から西南方向への道をたどると小さなお堂があり、下馬落観音様が祭られています。ここを通るときは馬からおりて歩いていかなければなりません。周囲は一面に柿畑が広がり、丁寧に手入れされて育った美しい朱色の柿の実が秋の陽を受けて輝いています。この一帯も昔ながらの芹沢の景色を

留めていて、その美しさに大いに感動しながら谷道を進んでいくと傍らに道祖神がありました。古い道祖神の隣には現代風の道祖神が並び、地域の人々の信仰の気持ちを充分伝えてくれます。今回の散策で得ることが出来た安らぎとたくさんの感動のお礼をして、芹沢の小さな旅は終了です。再び文教大学に向かい、思い切って若人のキャンパスを見学。図書館棟の1階には行谷貝塚の出土資料も展示されていました。バスの時間まで学生食堂で一休憩。

とても気持ちの良いひとときでした。皆さんも歩いてみませんか！

## ちがさき丸ごとふるさと発見博物館て何？

本市の全域を屋根も壁もない博物館と見立てて、文化、歴史、自然、産業、商業、公共施設、人材など、茅ヶ崎市らしさをもついろいろな事柄を幅広く選び出し、これらを都市資源と呼ぶことにしました。これらの都市資源を調査・研究し、それぞれがもっている意味や魅力を整理して広く市民に周知する一方、それぞれを関連づけて散策や各種イベントなどで活用を図ることにより、本市を改めて知り、本市を愛する心を育み、ひいてはまち全体の活性化を図ろうとするものです。そして、都市資源は地域のかげがえのない宝物として、地域により保護され育てられていくことになります。

このように、ちがさき丸ごとふるさと発見博物館は、住民と地域を関連づける自然・環境的遺産や産業遺産及び文化的遺産を対象として、それらを保護・保存し、調査・研究し、時には育てる機能をもった、地域環境そのものが博物館であるとする考えであり、運営する者も利用する者も、あくまで地域住民であるとするを大きな特徴としています。住民が、自分たちの地域の未来のために、自分たちの考えと力で運営していく姿勢を特に重要視しています。

平成15年12月、各分野の有識者と公募の市民を合わせた20名により、ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業検討委員会が組織され、事業の基本構想と実施計画について様々な検討を重ね、教育委員会に提言がなされました。その提言を基に庁議、パブリックコメントを経て、平成18年4月には25の施策からなる「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業の指針」が策定され事業が開始されました。

## ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の役割

茅ヶ崎市内の都市資源を今の形のまま残していきます。(保全)

茅ヶ崎市内の都市資源を育てていきます。(保護・育成)

茅ヶ崎市内の都市資源を市民をはじめ多くの人に知ってもらいます。(普及・啓発)

茅ヶ崎市内の都市資源を活用していろいろなイベントを行い、参加します。

茅ヶ崎市内の都市資源をめぐる散策ルートをつくり、多くの人が各地域を訪れることにより、地域の産業や商業が活性化することを応援します。

地域の活性化により、都市資源が地域の大切な宝物として、地域の人により護っていく雰囲気が育つことを応援します。

# ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の歩み

## ◆ ガイド養成講座

市内に点在している都市資源を関連づけ、児童・生徒、市民や市を訪れる人に解説・説明ができる丸ごと博物館ガイドを、講座やフィールドワークを実施して養成しています。そして幅広い茅ヶ崎の知識をもつ修了生を主体にちがさき丸ごと博物館を運営していきます。

### 第1期ガイド養成講座（平成17年9月～平成20年3月）

年	月	回	講義内容
17	9	1	1「エコミュージアムについて」2「茅ヶ崎の中世史」
	10	2	「考古学入門～小出を中心に～」
	10	3	フィールドワーク（十二天古墳、堤貝塚、民俗資料館、浄見寺、熊沢酒造等）
	11	4	「南湖院と高田畹安」
	11	5	「第33回茅ヶ崎市郷土芸能大会」を見学
	12	6	「戦中・戦後の茅ヶ崎～アメリカ軍との関係を軸に～」
	12	7	フィールドワーク（南湖院、柳島記念館、厳島神社など）
18	1	8	「小田原市ボランティアガイド協会」を視察
	2	9	「茅ヶ崎のイベント」（茅ヶ崎商工会議所）
	2	10	フィールドワーク「銀座通り周辺」
	3	11	「茅ヶ崎の石仏」
	3	12	フィールドワーク（石仏めぐり～本村八王子神社、海前寺、茅ヶ崎駅周辺～）
	7	14	フィールドワーク「源氏ゆかりの旧橋脚と神社を訪ねる」
	8	13	フィールドワーク「甘沼・殿山辺りから茅ヶ崎の風景を眺めてみよう」（6/18）
	8	15	フィールドワーク「茅ヶ崎の南東部を訪ねよう」
	9	16	1「図書館の上手な使い方」2「茅ヶ崎市域の文献を訪ねて」
	9	17	フィールドワーク「茅ヶ崎、文化のかおりを訪ねて」
	10	18	「茅ヶ崎の自然とくらし」
	10	19	「国指定史跡 旧相模川橋脚を考える」講演会・シンポジウムに参加
	11	20	「ガイドの話し方」
11	21	フィールドワーク「高座丘陵の秋」	
12	22	「エコミュージアムについて（2）ースウェーデン、ベリスラージェン・エコミュージアムの事例からー」	
12	23	フィールドワーク「自然堤防地帯にある円蔵・西久保を歩く」	
19	1	24	「多摩川エコミュージアム」視察
	2	25	「茅ヶ崎ゆかりの美術家たち」
	2	26	フィールドワーク「東海道歴史散歩」
	3	27	「マイクロバスで市指定重要文化財をたずねよう！」
	3	28	フィールドワーク「藤間家とその周辺を歩く」
	4	29	フィールドワーク「香川の湘南砂丘と生活・文化」
	5	30	フィールドワーク「大山道（高田 室田 松林）を歩く」
	6	31	フィールドワーク「ラチエン通り再発見」
	6	32	「市内公共施設視察見学」
	7	33	「変わりゆく茅ヶ崎の昆虫」
	8	35	「救命講習会」
	8	36	フィールドワーク「行谷の遺跡・神社仏閣」
	9	37	「生涯学習概論」
	9	38	フィールドワーク「相模川沿いの新田・萩園を歩く」
	9	34	フィールドワーク「浜風に誘われて」（7/15から延期）
	10	39	「ちがさきと映画」
	10	40	フィールドワーク「茅ヶ崎らしさを求めて」
11	41	フィールドワーク「南湖歴史散歩」	
			座学：17回 フィールドワーク：24回

12月以降は、受講生がグループごとに集まり、検討・企画し、参加者公募による「まちの宝もの（都市資源）めぐり」A～Dコースを19年3月2日に実施。

Aコース「早春の里山・小みちを歩く」

Cコース「源氏ゆかりの地を訪ねる」

Bコース「文化の香りを訪ねて」

Dコース「ラチエン通りから海岸へ」

第2期ガイド養成講座（平成20年10月～平成23年3月）

年	月	回	講義内容
20	10	1	エコミュージアム概論
	11	2	茅ヶ崎の歴史・近世 ～江戸時代と現代～
	12	3	茅ヶ崎の歴史・戦中・戦後
	12	4	フィールドワーク（南湖院～柳島）
21	1	5	茅ヶ崎の現代史ー市の商工業と駅前姿を中心にー
	2	6	生涯学習のすすめ
	3	7	図書館の上手な使い方
	4	8	茅ヶ崎の自然とくらし
	4	9	フィールドワーク「別荘のあった頃が偲ばれる高砂緑地」（3月から延期）
	5	10	湘南の自然
	5	11	フィールドワーク「駒寄川に沿って古人の跡を訪ねる」
	6	12	茅ヶ崎の石造物
	7	13	茅ヶ崎と映画
	7	14	フィールドワーク「もっと文化資料館を知ろう！」
	8	15	茅ヶ崎の樹
	9	16	茅ヶ崎の農業「田圃から何が見える」
	9	17	フィールドワーク「里山公園と周辺の社寺・遺跡を訪ねる」
	10	18	フィールドワーク「横須賀市・おおくすエコミュージアムを見学」
	10	19	考古学と茅ヶ崎「総論」

◆ ガイドグループの誕生

第1期ガイド養成講座修了生と事業検討委員会委員有志によりガイドグループ「土曜会」が発足し、平成20年9月18日に設立総会が開かれ、本格的な実践活動が始まりました。また、自主的な学習活動を行いながら、市内外の都市資源施設の見学やイベントなどに参加するなど、知識の向上に努めています。

◆ これまでの活動

活動内容	依頼・協働
ちがさき文化景観祭「創造のまち歩き」ガイド参加 コミュバス歴史探訪 「御霊神社由緒と南湖、柳島今昔物語」講話会 「小さな春を求めて小出川に沿って」ガイド 「茅ヶ崎里山公園散策とたけとんぼづくり体験」でのガイド	茅ヶ崎の文化景観を育む会 市都市政策課 左富士通り商店会 茅ヶ崎市観光協会 かながわ健生クラブ
第2期ガイド養成講座のフィールドワーク企画・講師	市生涯学習課
大岡越前際、浄見寺等指定文化財のガイド	市産業振興課
自治会公共施設見学へのガイド参加（21年度）	市秘書広報課
各種団体からの市内散策ガイド要請の対応	各種団体



ガイド養成講座への講師活動

編集 創刊号は、ちがさき丸ごと博物館の概要を紹介をしました。今後は季刊情報誌として、春・夏・秋・冬に刊行していく予定です。2号からは、観光・産業や自然・環境に歴史・文化財といった茅ヶ崎の都市資源の探訪やトピックス、イベント情報などを中心に、ちがさき丸ごと博物館の活動状況を紹介していきます。四季折々の季節感をにじませながら楽しい情報誌にしていきたいと考えています。（生涯学習課）

発行・編集 ちがさき丸ごとふるさと発見博物館

〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎 1-1-1 茅ヶ崎市教育委員会生涯学習部 生涯学習課文化財保護担当

Tel 0467-82-1111 内線 3343 E-mail: shougaigakushu@city.chigasaki.kanagawa.jp